

豊後大野市の「みらい」を考えよう！



みらいデザイン会議 報告会

2026(令和8)年2月

index
目次

- 01 | 実施概要
- 02 | タイムテーブル
- 03 | 策定報告概要
- 04 | グループワーク概要
- 05 | グループワーク結果
- 06 | 参加者アンケート結果
- 07 | 【ご参考】模造紙の写真

01 | 実施概要

■ 実施概要

- 日時:2026(令和8)年2月24日(火)19時~21時
- 会場:豊後大野市役所1階 101会議室

■ 参加者メンバー

- 市内在住者7名
- 豊後大野市役所職員9名



02 | タイムテーブル

| 時間 | 配分 | 内容 |
|-------------|------|---------------|
| 19:00~19:05 | 5分 | 開会 |
| 19:05~19:15 | 10分 | 振り返り・アイスブレイク |
| 19:15~19:35 | 20分 | みらい戦略プランの策定報告 |
| 19:35~20:20 | 40分 | グループワーク |
| 20:20~20:50 | 20分 | 発表 |
| 20:50~21:00 | 25分 | 交流会・写真撮影 |
| — | 120分 | — |

03 | 策定報告概要

みらいデザイン会議でのまちの将来像に関するプレゼン以降の検討過程やみらい戦略プラン(案)の内容について、みらいデザイン会議のメンバーに報告しました



04 | グループワーク概要

みらい戦略プラン(案)の策定報告を踏まえて、グループワークを実施しました

<グループワークのテーマ>

みらい戦略プランをどのように伝える？



何の情報を誰に伝えるか
考えよう！

- みらい戦略プランの全体像のうち、特に伝えたい内容を考える
- 特に伝えたい内容をどのようなターゲットに発信するのが効果的か考える



どのように情報を伝えるか
考えよう！

- どのようなツールでどのような内容を発信することで、伝えたい内容を伝えたい人に届けることができるか考える



グループでの結果を
みんなに共有しよう！

- グループでのアイデア出しの結果を市の職員や他のグループに共有する



05 | グループワーク結果

Aグループ 未来戦略プランをどのように伝える？

01 何の情報を誰に伝えるか

全国の30～40代 に対して、
まちの魅力 の情報を伝える

02 どのように情報を伝えるか

- 有名タレントの誘致(さっしー)
- スレッズ、ノート(note)でケイゾクの
- YouTubeショート
- インスタ 風景の写真(市民の方による)
#の文化をつくろう！
- SNSのインフルエンサーの発信

<アイデア出しスペース>



05 | グループワーク結果

Bグループ 未来戦略プランをどのように伝える？

01 何の情報を誰に伝えるか

豊後大野市に興味がある方(全世界)

基本目標3

に対して、

の情報を伝える

<アイデア出しスペース>

自分の市
なのによ
く知らない？

豊後大野
市を知る
ための情
報

豊後大野
市に興味
がある方

地域資源
人・店・
スポーツ

02 どのように情報を伝えるか

ケーブルテレビ

ケーブル
テレビを
活用(主)

特番

●●●●
著名な人
市長や
副市長

素敵な
お店♡

イベント
(スポーツ
とか)

アプリ

インスタ

LINE

食べ歩き
グーグル
マップ

You
Tube
道案内

Threads

note

X

生放送

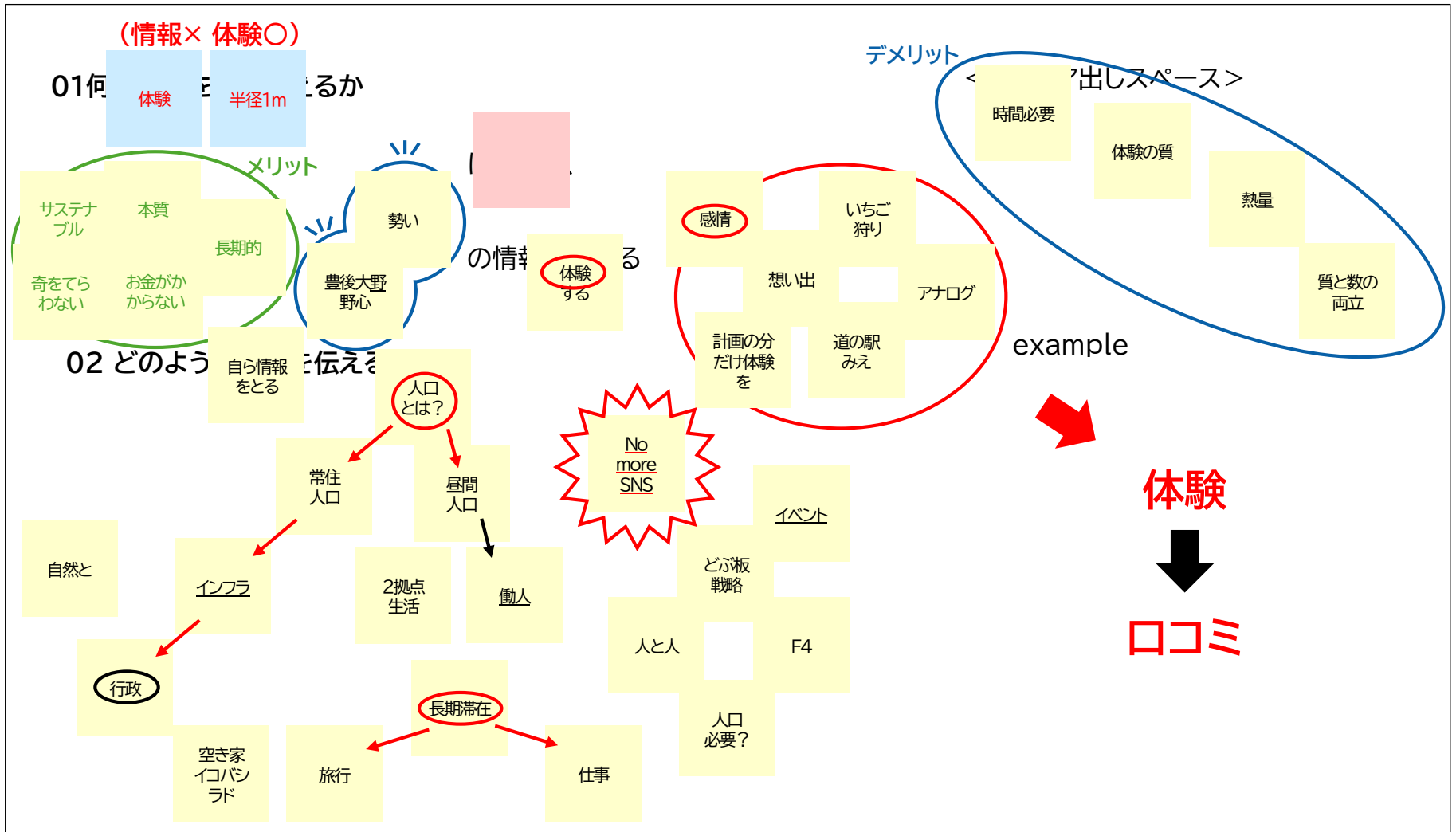
You
Tube
ライブ

インスタ
ライブ

ケーブル
テレビ

05 | グループワーク結果

Cグループ 未来戦略プランをどのように伝える？



05 | グループワーク結果

Dグループ 未来戦略プランをどのように伝える？

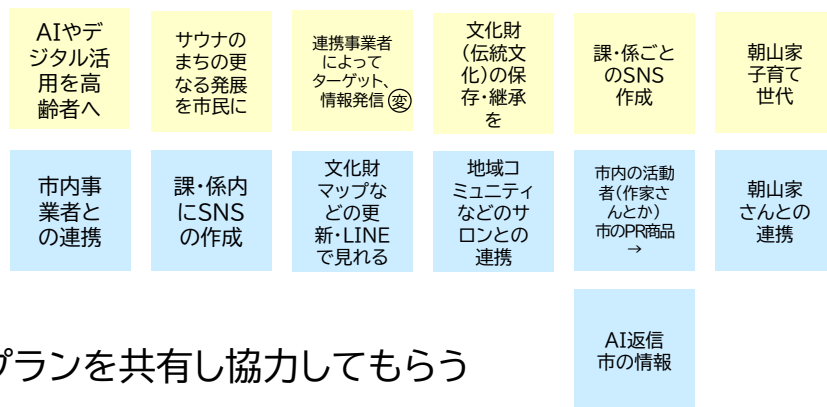
01 何の情報を誰に伝えるか

例

- AIやデジタル活用の推進を高齢者に向けて発信する地域サロンなどと連携
- 子育て世代の移住を希望する方へ民泊事業者(朝山家さんなど)から出会いから子育てまで切れ目なく支えることを伝えてもらう
etc...

に対して、
の情報を伝える

<アイデア出しスペース>



- 市内の事業者やコミュニティに、この未来戦略プランを共有し協力してもらう
- そこに集う人によってターゲットや情報を選別し発信してもらう

05 | グループワーク結果

発表内容

Aグループ

- 近隣自治体と比較して差別化が難しいことから、**全国に向けて情報発信**を行いたいと考えた。その上で、メンバーに近い**30~40代の方をターゲット**としてまちの魅力を伝えることとした。
- 全国区の**テレビ放送やThreadsやnote、インスタ、ショート動画などの活用が有効**であると考えた。
- **#を活用して、市に関わるみんな**で情報発信に取り組めるようになることよい。



グループ発表者

- 近隣自治体と比較して埋もれてしまわないように**強みを突き詰めて伝えていくことが重要**だと感じた。**市民の何気ない発信を広げていくための取組は必要**であると考えている。



白井副市長

Bグループ

- 基本目標3には豊後大野市の魅力が多く盛り込まれていると感じたため、**全世界の豊後大野市に興味のある方を対象に基本目標3について情報発信**を行っていきたいと考えた。
- **ケーブルテレビや全てのSNSを効果的に活用**して、まちの魅力を伝えてたい。特に各種ツールで**生放送**を行い、**双方向で情報交換**ができるとよい。



グループ発表者

- ケーブルテレビなどの**既存のツールの効果的な活用に着目されたことは素晴らしい**と感じた。どのようなツールを活用するのかではなく、**どのように活用するかが重要**であると改めて認識した。



白井副市長

Cグループ

- 情報とは何を考えたときに、**体験を半径1メートルの人に伝えていき**たいと考えた。**感情を動かす体験によって身近な人について話してしまう状況を作り出すことが理想**だと考えた。
- 小さな体験の積み重ねが豊後大野市の魅力が伝わっていくことにつながる。
- 情報に溺れている現代であるからこそ、**人と人とのつながりや体験などを大切にしたい**。



グループ発表者

- 実際に体験してもらうことで情報が伝わることはあると思う。**いかに豊後大野市に来て体験してもらえるかという切り口で情報発信を行うことは重要**だと感じた。



白井副市長

Dグループ

- 市内の**事業者やコミュニティに協力してもらい、そこに集う人に合った情報を伝えてもらうことが効果的**であると考えた。
- 例えば、AIやデジタル活用は高齢者にとってのメリットも大きいので、**地域サロンなどを通じて情報を届けることができればよい**。また、子育て世代の移住を希望する方へ**民泊事業者を通じて子育てに関する情報を届けることができればよい**。



グループ発表者

- **ピンポイントで必要な情報や効果的な情報発信を深掘りしていくことは重要**だと感じた。市内の事業者やコミュニティと連携することで**持続可能な情報発信**になる。



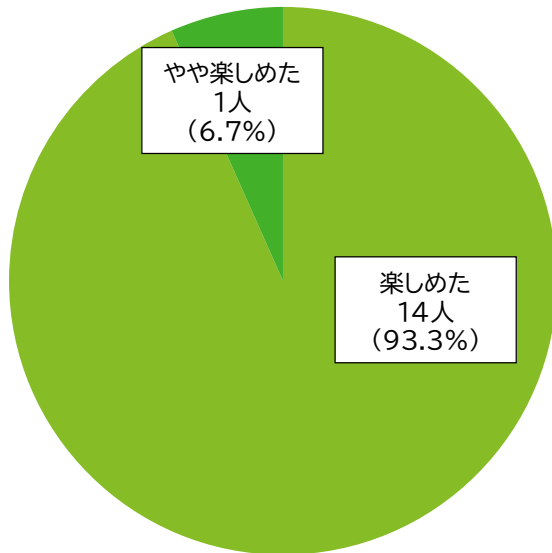
白井副市長

06 | 参加者アンケート

1. 本日参加された感想をお聞かせください。

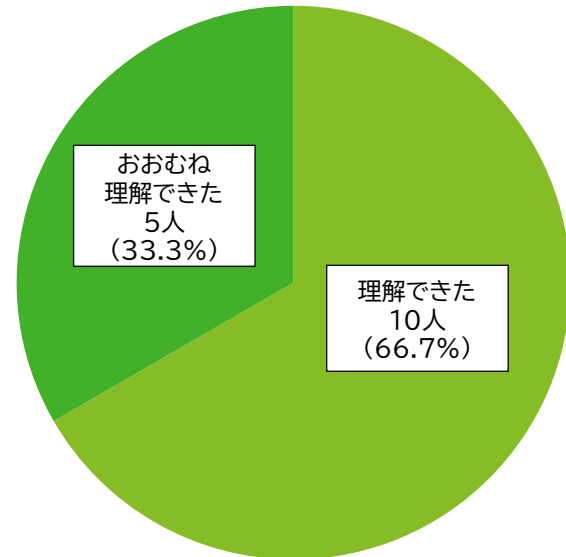
(1) 本日の報告会はお楽しみいただけましたか？

- 参加者全員が「楽しめた」又は「やや楽しめた」と回答しています



(2) みらい戦略プランの内容の説明はどのくらい理解できましたか？

- 参加者全員がみらい戦略プランの内容を「理解できた」又は「おおむね理解できた」と回答しています

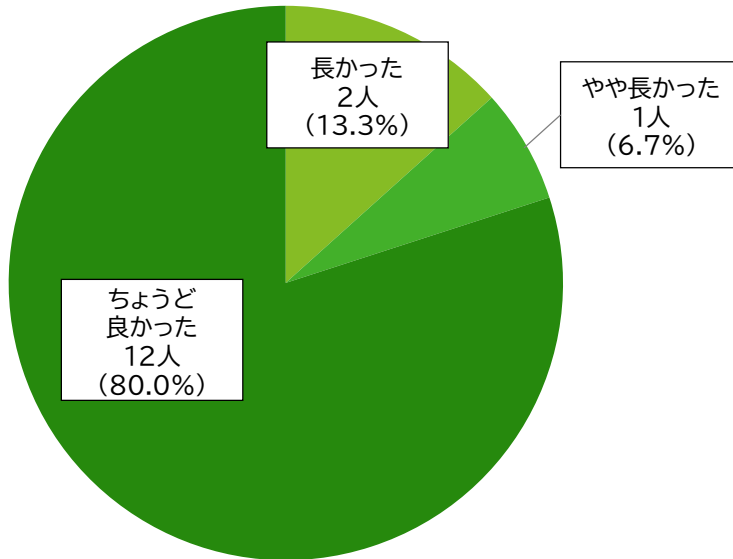


06 | 参加者アンケート

1.本日参加された感想をお聞かせください。

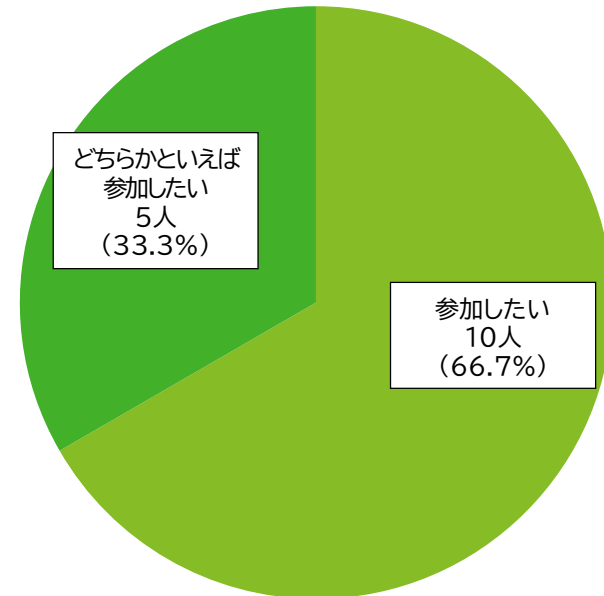
(3)本日の報告会での説明の時間(長さ)は、いかがでしたか？

- 参加者の8割の方は説明の時間は「ちょうど良かった」と回答している一方で、参加者の2割の方は「長かった」又は「やや長かった」と回答しています



(4)今後も、このような会議あれば参加したいですか？

- 参加者全員が今後もこのような会議に「参加したい」又は「どちらかといえば参加したい」と回答しています

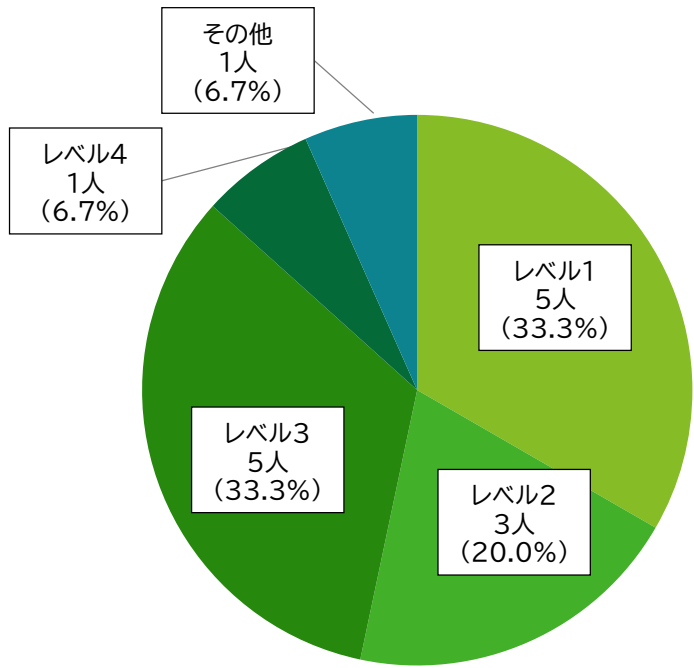


06 | 参加者アンケート

1.本日参加された感想をお聞かせください。

(5) (4)で「参加したい」「どちらかと言えば参加したい」と答えた方にお聞きします。今後同様の会議が開催される場合、あなたが希望する参加レベルを次の中から1つ選んでください。

- 参加者の回答の中では、レベル1やレベル3の開催を希望する方が多くなっています
- 「その他」を選択した方からは、「CATVから発信する時には是非ともお手伝いに行きます。」と回答がありました



- レベル1:交流・意見表明・・・同世代と交流し、日頃の悩みや感じていることを共有するとともに、地域や暮らしについて自分の意見を出すことができる。
- レベル2:行政との対話・政策理解・・・市職員とまちづくりについて話し合い、市の重点施策の説明を受けたうえで、その内容に対して意見交換ができる。
- レベル3:提案形成・発表・・・グループで地域課題の解決策や事業アイデアをまとめ、市長・副市長等に対してプレゼンテーションや発表を行うことができる。
- レベル4:提言・・・ワークショップで整理した内容を提言書としてまとめ、市長・副市長へ提出することができる。
- その他

06 | 参加者アンケート

2.本日の感想を自由にお聞かせください。

■ 満足度の高い会になった(9件)

- 具体的な日程は決まった情報ではないものの情報発信の方法…ということで難しいのでは？と思いましたが、グループワークでの会話が弾み、良い報告会でした
- 将来像の中で【野心的】というワードに豊後大野市のやる気、意欲、意気込みを感じました。また策定報告を1番に参加者の皆へフィードバックして下さったことをありがたく感じました。
- 型にとらわれない方法でのみらいデザインを考えることができ、「体験」というもののパワーを強く実感しました。
- 豊後大野市について考えることができ、とても良かったです。
- 情報発信に向けて、さまざまなアイデアを聞くことができ、今後を活かせそうです。
- スムーズに意見をまとめることができ、良かったです。
- 取り組んだ成果が聞けて良かった！
- 久しぶりに皆さんにお会い出来たのが楽しかったです。
- 市民の皆様の意見が的確であった

■ みらい戦略プランの情報発信を進めてほしい(3件)

- みなさんの発表を聞く中で、詳細な基本項目ごとに情報発信の専門部会を作り、その中で突き詰めた情報を煮詰めた上で、それぞれ同時多発的に全国の先進地や最先端にいる人達が集まるような場所に向けてPRするのが面白いのではないかと思います。
- それぞれの分野によって適切な情報発信手段は異なると思うので、そこは知見のある先進的な人達に委ねて、それぞれの分野でクラスター的な情報発信の仕方を研究してもよいのではと思いました。
- また、無い価値を作るよりも、今ある価値を適切な人に届けるための手段を、横断的かつ体系的に管理しながら組織し、推進していくべきだと思いました、

■ みらい戦略プランを実現させてほしい、実現が楽しみ(2件)

- 過去の協議内容がプランの中にしっかり反映されており、今後の施策が楽しみです。
- 実際にどんどん施策として現実させてほしい。

■ 同じようなイベントを開催してほしい(2件)

- 定期開催良いと思いました。
- 今後もずっと豊後大野市から出るつもりがないのでもっとこういった場を設けて欲しいです。

06 | 参加者アンケート

3. 今後、同じようなイベントを開催する際の改善点など、お気づきの点がありましたら教えてください。

■ 会議運営に関するご意見(9件)

- これまでの会議の中で、今日の会議が時間配分も内容もとてもちょうど良かったと思いました。中身が濃過ぎても疲れてしまうので、これくらいの分量が定期的にあると積み上がっていくものがあるのではないかと思いました。貴重な機会を設けていただき、ありがとうございました。
- 各回ごとにテーマを決めて、そのテーマに関係する課長に同席してもらい、市長に提案するまで、共同で考える。例えば子育て関係であれば、子育て支援課長に同席してもらう等
- もう少し時間を早めにして欲しいです。
- 茶菓子を豊後大野市の特産にしたりできると良い。
- 茶菓子が豊後大野市産ならまた良いかと。
- 県外の自治体視察。合宿など
- 会の開催の連絡がもう少し早いともっと人も集まるのかなと感じた。

07 | 【ご参考】模造紙の写真

01 何の情報を誰に伝えるか

対して、 **全国**の30~40代

の情報を伝える **まちの魅力**

02 どのように情報を伝えるか

有名タレントの誘致 (さんしー)
スレッド、ノート(note)を幹ケツ目的
YouTube ぽーと、
インスタ、景色の写真 (市民の方へ送)
#の文化をうつそう!!
SNSのインフルエンサーの発信

A

<アイデア出しスペース>

01 何の情報を誰に伝えるか

豊後大野市に興味がある方 (全世界)

に対して、

の情報を伝える **基本目標 3**

02 どのように情報を伝えるか

ケーブルテレビ

アプリ

生放送

YouTube ライブ

Instagram

LINE

Twitter

note

YouTube 道楽時

Threads

note

YouTube ライブ

Instagram

Twitter

B

<アイデア出しスペース>

01 何の情報を誰に伝えるか

対して、

の情報を伝える **体験**

02 どのように情報を伝えるか

体験

例) AI やデジタル活用が得意な高齢者に向けた若手向け地域プロジェクトの連携

若手世代の移住を希望する方へ自治体若者 (朝山菜花) から出会う子育ても地域づくりを伝えること伝えよう

C

<アイデア出しスペース>

01 何の情報を誰に伝えるか

対して、

の情報を伝える

02 どのように情報を伝えるか

市内の若者 + コミュニティ 連携を有し協力しよう。

若者に若くは、ターゲットや情報と発信のやりとり

D

<アイデア出しスペース>